

「街づくりプロジェクト」説明資料

1、現在の認定状況

一般型街づくりプロジェクト 5件

公園の清掃活動や空き店舗活用など、地域資源を活用した地区の魅力を高める街づくり活動です。

NO	プロジェクト名	活動区域	概要	認定理由 (地域資源×取組)	街づくりアドバイザー派遣 (現時点)
1	小山田桜台団地 「多世代が交流できる公園団地」プロジェクト	小山田桜台一丁目、二丁目	団地内の公園の清掃、子育て支援、交流スペースづくり	公園・空き店舗 × 地区の魅力を高める	4回 (交通環境整備、安心安全まちづくり、バリアフリー)
2	鶴川団地 グリーンスローモビリティプロジェクト	鶴川団地周辺	団地内の小型交通の企画、運営	小型交通 × コミュニティ形成	—
3	玉川学園地区 地域資源活性化プロジェクト	玉川学園地区	空き家活用、交流スペースづくり、地区内小型交通の検討	空き家・移動資源 × 地域の居場所や、新しい価値づくり	2回 (移動支援サービスの検討)
4	玉川学園地区 街並みづくり・憲章普及プロジェクト	玉川学園及び南大谷の地区の一部	街並み、景観づくり	街並み × 景観づくり	—
5	玉川学園地区 さくらと緑のプロジェクト	玉川学園地区	景観づくり、緑の保全	桜と緑 × 景観づくり	—

認定に向けて相談中の件数 1件

NO	類型	活動区域	概要
1	一般型街づくりプロジェクト	つくし野三丁目セントラルパーク	公園の利活用を通じた地域コミュニティづくり

街並み形成型街づくりプロジェクト 7件

街並みの維持向上のために、地区の目標・方針や建築物のルールなどを作成・運用するプロジェクトです。

NO	プロジェクト名	活動区域	概要	街づくりアドバイザー派遣 (現時点)
1	つくし野三丁目地区街づくりプラン運用プロジェクト	つくし野三丁目地内	地区街づくりプラン運用	—
2	小田急金森泉地区街づくりプラン運用プロジェクト	金森東三丁目、四丁目、小川二丁目の一部	地区街づくりプラン運用	—
3	鶴川平和台地区街づくりプラン運用プロジェクト	能ヶ谷六丁目、七丁目の一部	地区街づくりプラン運用	—
4	原町田四丁目第二地区街づくり構想運用プロジェクト	原町田四丁目、三丁目の一部	地区街づくりプラン運用	—
5	田中谷戸地区街づくりプラン運用プロジェクト	上小山田町の一部	地区街づくりプラン運用	1回 (農を基盤とした活性化のシンボルづくり)
6	森の丘景観まちづくり宣言運用プロジェクト	金井六丁目、七丁目の一部	地区街づくりプラン運用	—
7	小野路宿通り街づくりプラン運用プロジェクト	小野路町の一部	地区街づくりプラン運用	—

2、各プロジェクトへの街づくりアドバイザー派遣について

①小山田桜台団地「多世代が交流できる公園団地」プロジェクト

本プロジェクトでは、「小山田桜台団地地区街づくりプラン」に掲げる「多世代が交流できる公園団地」実現に向けて持続的なマネジメント活動を行っております。具体的には、シンボリックな谷戸池公園の定期的な清掃や池の水質浄化、また、団地センター街の空き店舗を活用して孤立する高齢者等の居場所づくりや多世代が交流できるスペースづくり、子ども食堂や冒険遊び場などの活動です。

今年度のアドバイザー派遣については、毎月の定例マネジメント会議において、地区の抱える諸課題についての整理や事業計画への助言を行っております。

- エリアマネジメント、郊外団地を取り巻く社会情勢についての事例紹介
- 団地周辺の交通環境整備について
- 安心安全まちづくり実現、防災対策について
- 高齢者の歩行環境、バリアフリーのまちづくりについて

今後も、毎月の定例マネジメント会議にアドバイザー派遣を行い、引き続き上記検討について助言を行う予定です。

②玉川学園地区地域資源活性化プロジェクト

本プロジェクトでは、現在は使われていなかったりする場所や物を、地域資源として利活用できないか模索する活動を行っております。具体的には、空き家・空きスペースを活用した地域コミュニティの創出、空き家の維持管理の相談受付、地域の移動資源を活用した外出支援サービスの導入検討などの活動です。

今年度のアドバイザー派遣については、地域のコミュニティバス大幅減便をきっかけに移動手段に困っている高齢者などの外出を支援するため、地域の福祉事業者車両の空き時間を利用した新しい移動支援サービス導入検討への助言を行っております。

- 2030年に想定されるモビリティ、他市の移動支援の事例紹介
- 地域福祉事業者からの事業計画案について

今後は、住民ニーズの把握や、事業計画案検討についてアドバイザー派遣を行い、来年度から移動支援サービスの実証実験を開始するために助言を行う予定です。

③田中谷戸地区街づくりプラン運用プロジェクト

本プロジェクトでは、「田中谷戸地区街づくりプラン(目標・方針)」の実現に向け活動を行っております。また今年3月に策定した「町田市里山環境活用保全計画」では、本地区に「農を活用した地域の賑わいゾーンの創出プロジェクト」が位置付けられ、今後來訪者が「農」をテーマとした体験や農産物などの購入など地域住民と交流できる場の創出が計画されています。

今年度のアドバイザー派遣については、上記計画の実現に向けて、地域としてどのように魅力づくりを考え連携できるか、助言を行っております。

今後も、アドバイザー派遣を行い、引き続き上記検討について助言を行う予定です。

3、支援体制について

新規プロジェクトなどの相談について、地区街づくり課・市民協働推進課・福祉総務課など庁内関係部署と相談受付票を共有し、連携して対応しております。

既存プロジェクトについても、地区街づくり課が窓口となり、関係部署と調整を行い、全庁的に支援を行っております。

また、庁内では、複数の部署にまたがる課題について、地区協議会や町田市地域活動サポートオフィス、地域の企業なども交えて協議し課題解決を図る「寄り合い」という仕組みが動き始めています。

4、情報発信について

○広報まちだ6月15日号メインニュースにて、住みよい街づくり条例改正と街づくりプロジェクトなどの周知を行いました。

○若い世代へ街づくり情報の発信力を高めるため、SNS開設の準備を行っております。